

神奈川県立保土ヶ谷養護学校学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	令和4年度 第2回 ほどう協議会		
開催日時	令和4年9月27日(火)		
開催場所	共同学習室		
出席者	令和4年度保土ヶ谷養護学校 学校運営協議会委員 6名(本校校長を含む) 令和4年度保土ヶ谷養護学校 学校運営協議会事務局教職員 8名		
次回開催予定日	令和4年12月第3週(12日～)の予定		
問合せ先	神奈川県立保土ヶ谷養護学校 副校長 川島 結子 電話 045-714-0126 Fax 045-742-9716		
下欄に掲載するもの	議事録	議事概要とした理由	
審議(会議)経過			
<p>1. 副会長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本日は会長が欠席のため議長を代理で行う</li> </ul> <p>2. 学校長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の協議の結果を学校運営に反映させていきたい</li> <li>・内容は中間評価を中心に行う</li> </ul> <p>3. 出席者および会成立の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校校長を含め、6人の委員の出席により、本会が成立したことを確認</li> </ul> <p>4. 資料確認・本日の流れの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料訂正箇所について確認</li> <li>・清掃技能検定の成績紹介</li> <li>・展示資料紹介・・・「夏季研修受講報告」ファイル、 ガラス飛散防止フィルム貼り付け工事の様子について</li> </ul> <p>5. 議題(報告・説明)</p> <p>①「学校目標」中間評価 (配付資料およびスライド資料使用)</p> <p>【小学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R5 年度体育の年間授業計画を作成した。これは「教科指導内容表」修正のステップと考えており、引き続き修正を進めていく。</li> <li>・「不適切指導防止」「さん付け呼称」について職員室にポスター掲示をして取り組んだ。アンケートの結果「不適切指導防止」100%「さん付け呼称」86%を達成した。2 学期以降も引き続き取り組んでいく。</li> </ul>			

#### 〔中学部〕

- ・防災学習について、1、2年生が校外学習で防災センターへ行き理解を深めた。引き続き感染症などの状況を見ながらできる学習を行い、整理と検討をしていく。
- ・アセスメント学習会を行ったうえで、アセスメントを実施した。事後に協議し、後期計画に反映させた。
- ・交流について予定あり。

#### 〔高等部〕

- ・事業所販売を新しい形での実施計画(カタログ式)を提案。3つの事業所とコラボしてバザーを行っていく。
- ・情報化モラル研修を全教員が受講した。すでに2件のケースが上がっており、引き続き学習グループごとに授業を実践する。

#### 〔舞岡分教室〕

- ・「進路学習」「情報」整理検討を開始した。今後は3年間の教科指導内容表を作成し、次年度から実践できるようにする。
- ・舞岡高校との交流内容を検討し、対面しての交流の機会も持つことができた。今後は交流内容を更に深め、互いの生徒理解に役立てる。

#### 〔横浜平沼分教室〕

- ・地震を想定したグラウンドへの避難訓練を、横浜平沼高校と合同で2回行うことができた。今後は、分教室独自で津波を想定した防災訓練を行う。また、防災教育の体系化を後期に行っていく。
- ・横浜平沼高校の体育祭・文化祭に参加し、交流できた。今後は部活動交流、体験授業の実施について検討を行う。

#### 〔管理運営グループ〕

- ・毎月、防災訓練(マンスリーショート訓練、避難訓練)ののち、教員のみならず子どもたちも振り返りを行った。フィードバックカードを使用し、焦点を絞って振り返りを行うことで、正しい避難行動が身についてきた。
- ・自動計算を組み込んだテンプレートを公開したり、書類作成のルールを見直したりすることで、会計書類作成の手間を軽減することができた。
- ・今後は会計マニュアルの内容を見直し、間違いやすいところをより理解しやすいように改訂することで、校務の効率化につなげる。
- ・今年度は行事ができるようになったので、臨時会計の処理がスムーズに行えるよう、班から周知・サポートを行う。

#### 〔教育企画グループ〕

- ・作成した教科指導内容表の活用に向けて共通理解を図り、修正を行っていくことを確認。例年年度末に行っている体育の年間授業計画作成作業を、今年度は夏季休業中に行った。修正実施は2学期に行っていく予定

- ・指導要録・出席簿の電子化→事故防止を念頭に置きながら校務の効率化を図る。
- ・出席簿の自動計算を取り入れて事故防止を図った。今後もマニュアルに沿って行っていく。複数人でチェックする体制を整える。

#### 『教育支援グループ』

- ・摂食指導アセスメントを活用した事例を増やし、アンケートの集約を開始した。今後は摂食指導研修会やアセスメントシートの活用を進め、摂食指導に関する理解度の確認や次年度の方向性を検討する。
  - ・センター的機能・本校のノウハウの紹介として、研修研究班の成果などをホームページで地域に発信した。
- 今後はまだ掘り起こし可能な情報を検討し、ホームページで発信していきたい。

#### 『連携支援グループ』

- ・太田ステージ(自閉症の子どもの認知発達段階を評価する指標として開発された。ことばのない児童生徒のアセスメントにも適している)アセスメントを実施し、ケース会議で課題の分析、個別教育計画の作成に協力した。心理職、作業療法士を中心に今後も協力していく。
- ・地域等との協働、巡回相談等の事例を班内で共有 意見を出し合う機会を持った。特別支援教育の現場ではどう取り組んでいるか、それを地域の学校ならどのように実施できるかなどを話し合った。今後の巡回相談時に紹介できるとよい。

#### ②「切れ目ない支援部会(8月29日実施)」中間報告

- ・今年度は、顔を合わせた協議を行うことができた。
- ・資料を使用して協議を行った。(資料説明)
  - 【5-1】 今年度各学部・分教室の地域交流活動をまとめたもの。特に、舞岡分教室はさまざまな形で舞岡高校と交流を深めている。体育祭は終日参加。模擬投票、田植え体験なども高校の生徒と一緒に行うことができた。横浜平沼高校と体育祭・文化祭にて交流を深めた
  - 【5-2】 センター的機能の説明、本校の取り組みについて紹介。データについては、教育相談の実績についてR元年～3年までまとめたもの。コロナ禍の中でやり方、内容は異なっていたものの、数としては変わらない様子が見える。
- ・今年度の活動計画や内容について
  - キーワードとして「知る」。お互いを知るために交流をどんどん行っていきたい。
  - 今後も学校間交流、居住地校交流がすすむ中で深めていきたい
- ・ふれあい作品展 交流作品展について紹介(スライド資料)
- ・光陵祭 保土ヶ谷養護からは主にPTAが参加した。(児童生徒の作品展示で交流)

#### 【質問】

A 委員)・支援連携 G がとても良い活動を行っていることがよくわかった。

- ・個人的には夏の公開講座について興味があり知りたいが、これはどこのグループが行ったものか。

→・教育支援Gの研究研修班が行っている。夏の公開講座については、中間報告の冊子の方にまとめている。

・地域の方はリモートで30～40名くらいの方(保護者、近隣校の方)が参加した。

### ③「農園活用部会(9月12日実施)」中間報告

～資料とスライド資料にて昨年度の様子を説明～

#### ○あそびグループ

今年度は横浜市スポーツ協会の方より「すべり台については再度“リベンジ”をしたい」学部からは「全学年すべり台あそびをしたい」という要望が出ている。

委員の方からの「結果としての交流だけではなく、プロセスの中でも交流ができるのではないか」という言葉を受けて、例えば材料となる段ボールを商店街にもらいに行く、などの活動もできるのではないかなどの発想につながっている。

#### ○農園活用グループ

腐葉土づくり 横浜市循環局の方からアドバイスをいただきながら作業を行っている

今後の課題は「土づくり」

今年度は高等部だけでなく中学部も参加して行っていく。

今夏は熱中症警戒アラートが出る事が多く、戸外での活動を控えた。予定どおりの活動が難しかった。

生産者としての実感、収穫をインパクトある活動として職業報告会にて報告できるよう計画中。

職業班バザーとコラボして行っていく。

## 6.協議

B 委員)・学校行事も行えるようになってきた。(権太坂小)3年生が交流している。打ち合わせの際には、今年はぜひ対面でという話もあり楽しみにしている。

・自校の中間評価については「できた」「できなかった」という評価にとどまり、どの程度できたかできなかったかなど内容に踏み込めていないのが反省だが、保土ヶ谷養護はしっかり中間評価をまとめているので参考にしていきたい。

C 委員)・台風が多かった。浸水被害等はなかったが、暴風被害によって桜の木2本が倒れて、家屋が被災した。保土ヶ谷養護にも大木があるので、被害に合わないよう災害対策をするよ。町内では空き家も問題になっているが、空き家のまわりに樹木があり、公道にせり出している。樹木の被害が家屋の屋根などに影響を及ぼすこともある。風雨に煽られることで被害が出ることもある。

・校長にハザードマップを渡した。日頃より関心を持って把握しておく、避難が必要なときなど有事に備えることができるのでは。

・権太坂2丁目が被害地域としてよく挙げられる。地図で見ると光陵高校下の竹林の部分が危険地域としてよく言われる。

学校長)・昨年度台風にて大木が1本倒れた。斜面とグラウンドの斜面が土砂災害地域に指定されている。安全管理マニュアルには、避難する場所が大丈夫かどうかを確認する動きがシステムの中に組み込まれている。

・保土ヶ谷養護から出て避難する必要も出てくるかもしれない。移動が難しい児童生徒も

いるが、そのあたりを含めて考えていきたい。

A 委員)・学校防災計画が学校計画に組み込まれ、各学部・G で取り組んでいるところが素晴らしい。地域と密着して、防災に取り組んでいくことが大事である。

・「いちょうだより」昨年度は3回出たが、今年度はまだ1度も出ていないので、ぜひ発信してほしい。ホームページの「部門・学部」をクリックしても情報が出てこず、ほどようアルバムに出てくる。リンクの貼り直しなど対策を検討してほしい。

D 委員)「不適切指導防止」について。「さん付け呼称」は統一して取り組んでいるのか。

→「〇〇さん」ということで統一していきましょうと取り組んでいる。

B 委員)自校でも、以前から取り組んでいるので、特に取り上げて取り組んでいこうという感じではない。

D 委員)86%というところで、できていない方もいる。なぜさん付けじゃないといけないのかという意見も出てくるとは思う。ひとつのベクトルに向いているのか。それとも個々の意見を踏まえた上で行っているのか。

→企業、作業所も「さん付け呼称」をしている。学校でもそれに取り組んでいこうという呼びかけで行っている。

・全校的に、肯定的・前向きな姿勢で取り組んでいる。

D 委員)一般的に、いろいろなところで取り組んでいる。呼びかけてはフェードアウトし…の繰り返しでさまざまな意見もある。定期的に振り返り、考え、マイノリティの意見も汲みつつ意識的に取り組んでいくのがよい。

D 委員)「情報モラル研修」とは具体的にどういうものか

→児童生徒を危機から守るためにICT機器から遠ざけるのではなく、使用することを前提に「正しく使う」「安全に使う」ことについて、どんな授業が考えられるかなどについて協議を行った。教材は、講師が用意したものを使用した。

A 委員)SNSを扱う注意点などについて企業でも取り組んでいる。

D 委員)今の時代を象徴している研修であると感じた。写真など個人情報を出すにあたっても気を遣う時代なので、必要な研修である。

C 委員)ネットいじめ、モラルなどについて現在問題になっているが、そのようなことはあるか。

→研修では、「デジタルシチズンシップ教育」をベースに、子供たちをデジタルから遠ざけるのではなく、上手に使うための教育について考えた。「ネットを使用する時間」「SNSの利用方法」「相手がどう思うか」などについて、学校生活全般で指導していくためには、どんな場面で扱っていけるか、どのような授業案が考えられるかについて協議した。

A 委員)このような教育を通じて、ネットいじめを防ぐための指導、授業実践について研修したということがわかった。

E 委員)保土ヶ谷養護のコロナ前の状態がわからないので普通の状態を知りたい。期待と不安がある。

A 委員)センター的機能は良く役割を果たしている。電話相談、巡回相談をまとめ上げていることは素晴らしい。実際の相談内容も知りたい部分である。

しばらく動きが止まっていた農園活用部会が動き出した。

C 委員)様々な活動の中ヒヤリハットは出てくるであろう。注意すべき所を抽出しておいて注意

喚起をしていくことが必要。

B 委員)保土ヶ谷警察署と連携し防犯教室を開催している。スクールライフサポーターと連携している。

D 委員)・警察とコラボして地域に向けたイベントができないか考えている。

・農園管理を地域の方と行っていくことで地域交流ができるのではないかと。win-win な関係作りから、教員が楽しめることも考えてもいいのではないかと。

A 委員)中間評価の内容を考慮して後期の教育活動を進めてほしい。

#### 7.事務連絡

副校長)・第 3 回学校運営協議会 12 月 12 日(月)の週のどこかで開催する。調整次第お知らせする。

・会場は横浜平沼分教室で開催する。(横浜平沼高校内)

#### 8 学校長挨拶

・日々の教員の頑張りにつながる。お話いただいたところは修正して年間のまとめに向けて活動していく。

#### 9.副会長挨拶

・保土ヶ谷養護学校の取り組み内容が聞けた。様々な工夫をしながら活動していることが良く分かった。

会議資料

※ 添付なし